

第1章 要請の背景

ハイティ共和国（以下「ハ」国とする）は、中米カリブ海上のイスパニョーラ島の西側約3分の1を占め、東側はドミニカ共和国に接している。北部と南部を山脈が走っていて、山岳部が国土全体の約4分の3を占め、平野部は少ない。行政区は、西県、北県、北西県、北東県、南県、南東県、グランダンス県、中央県及びアルティボネート県の9県に分かれ、その下に41の郡が置かれている。国土面積は、日本の約7%に当たる27,750 km²で、そのうち約20%に当たる5,600 km²が耕地面積である。主要産業は農業であり、経済労働人口3,485千人のうち62.9%が農業に従事しているのにもかかわらず、農業部門は国内総生産の30%しか占めていない。軍支配下の4年間（1991～1994年）、経済封鎖や援助の中断を含む国際社会の制裁措置により、経済は疲弊した。アリストテッド大統領帰国後、米国をはじめとする国際社会により経済的援助を受けているが、経済の立ち直りに時間を要しており、1人当たりのGNPは410US\$¹（1998）で、中南米諸国の中で唯一、LLDCに認定されている。

「ハ」国は、社会的公正・民主主義に基づく持続的経済発展の確保を目標とし、社会経済開発計画（2001～2006年）を策定した。その中で、農業分野においては、社会的公正に基づく農業発展の促進を目指しており、行動要綱として、天然資源の保護・管理、環境保護、水資源の制御及び農業セクターの構造改革を掲げている。

また、右社会経済開発計画にもとづいて農業開発計画（2001～2002年）も策定しており、食糧安全保障、小農地での単位面積当たりの収量（以下、単収とする）増加及び輸出作物の生産能力の強化を目標として、農民を対象としたマイクロクレジット、食糧増産に資する農業資機材の投入及び輸出作物であるコーヒー豆・カカオ豆生産の再発展を計画している。

同時に、コメ、トウモロコシ、インゲン豆、プランタン、キャッサバ等の食糧安全保障及び小農地での単収増加を図ることを目的とした食糧増産計画（2001～2002年）も策定されており、農業資機材を投入し、その配布システムを確立することが行動計画としてあげられている。

かかる状況の下、「ハ」国政府は、コメ、トウモロコシ、ヤムイモ、サツマイモ、インゲン豆及びプランタンを対象として、肥料を普及させるため、我が国に平成13年度食糧増産援助を要請した。

本計画で要請されている資材とその数量は表1 - 1のとおりである。

¹ World Bank Atlas 2000

表1 - 1 要請資材リスト

項目	要請 No.	標準リスト No.	品目 (日本語)	品目 (仏語)	要請 数量	単位	優先 順位	希望 調達先
肥料								
	1	FA001	尿素 46% N	Uree 46% N	3,000	ト	1	DAC
	2	FA002	硫安 21% N	Sulfate d'ammoniaque 21% N	5,000	ト	1	DAC
	3	FA028	化成肥料 16-10-20+0.01(Mg)	NPK 16-10-20+0.01(Mg)	3,500	ト	1	DAC
	4	FA039	化成肥料 12-24-24+0.01(Mg)	NPK 12-24-24+0.01(Mg)	1,500	ト	1	DAC
	5	FA039	化成肥料 20-20-10+0.01(Zn)	NPK 20-20-10+0.01(Zn)	3,500	ト	1	DAC
	6	FA040	化成肥料 12-12-20+0.01(Mg)	NPK 12-12-20+0.01(Mg)	3,500	ト	1	DAC

本調査は、「八」国が我が国政府に提出した要請書について国内解析を通じて選定資機材の品目・仕様等にかかる技術的検討を行うことを目的とする。